



Juju Information Vol.65

Juju(こと、野田樹潤)

スーパーフォーミュラ 第2ラウンド 大分・オートポリス

フリープラクティス(走行)でのマシントラブルが尾を引き、決勝、完走するも20位

Juju「たくさんの方が遠くから応援に来てくださり、皆さんの期待も一緒に走りました」

Juju(こと野田樹潤)は、5月18日(土)-19日(日)、大分県日田市・オートポリスで開催された「2024 SUPER FORMULA」第2ラウンドに、「TGM Grand Prix」(チーム代表:池田和広氏)から出場しました。結果は、18日(土)のフリープラクティス(走行)開始早々に発生したマシントラブルが尾を引き、決勝レースは、我慢の走行となり20位でレースを終えました。



Jujuは、「また、いろいろ勉強になりました。レースをしているので勝ちたいという思いはありますが、そうなるための今(のレース)です。元々のコンセプト(※)からブレないことが大事。」と、確かに前を向いていました。

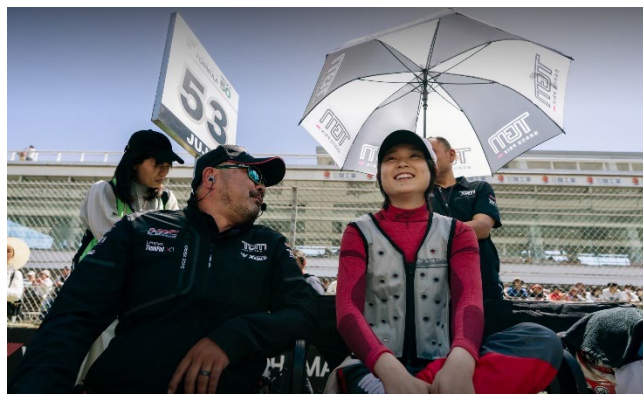
※2024年3月15日合同記者会見のコメント:「毎戦レースを楽しみ、ひとつひとつ目の前の壁を乗り越えて、成長を遂げていくというのが今やるべきことであると考えられています。一步一步の成長がその先の勝利につながる」

5月18日(金)の朝9時過ぎからのフリープラクティス(走行)。スーパーフォーミュラのレース車両でオートポリスを走るのは、この時が初めて。まさに、ぶっつけ本番。フリープラクティスでは、まず使用済のタイヤで走って、コースやマシンのセッティングを確認し、その後に新品のタイヤに交換し、午後に行われる予選に備えて、90分間の走行時間を最大限に活かした本格走行を行うというプランでした。

ところが、確認の走行を終わって新品のタイヤに替えようとした直前にマシントラブルが発生しコース上に停車。マシンをピットに戻し、メカニックが懸命の修復作業。作業を終えてタイヤも新品に替え、コースに戻ったときにはフリープラクティス終了時間直前。結局、マシンのセッティング確認も予選のシミュレーションもできないままフリープラクティスを終え、苦しい状況で予選を迎えることとなりました。



同日午後、「誰もこの状況を望んでいたことではないし、チーム全員全力で戦っている。不安だらけだけど、その状況でできる精一杯の走りをするしかない。車両トラブルを修復してくれたチームに感謝です」(Juju)と臨んだ予選。フリープラクティスで使えなかった新品のタイヤを履き、経験のないサーキットでこれまでに挑んだことのない積極走行でタイム短縮を目指しましたが、最終コーナーのミスで大きくタイムロス。Jujuが走った予選 A グループ 10 番手、総合 19 位となりました。



mikiHOUSE FORDAYS Kokon 安藤ハゲマ XEBEC 宇都宮 TETI
ランスも思う状況とはいかず、我慢の走行でした。

19日(日)の決勝は、「チームの士気は高く、雰囲気は悪くない。全力で戦うのみだ。」と、持ち前の“前向き姿勢”で、スターティング・グリッドにつきました。

スタート直後、得意のスタートを決めて1台を抜きましたが、1コーナーでブロック車両との駆け引きで行き場を失い、逆にポジションを21番手に落とす結果に。後方から先行する車両を追う展開になりました。しかし、前日のフリープラクティスでのマシントラブルからの悪い流れを断ち切れず、決勝のマシンバ



mikiHOUSE FORDAYS Kokon 安藤ハゲマ XEBEC 宇都宮 TETI

ただ、レース中盤辺りは、そのマシンなりの走り安定したタイムをキープ。24周を終えたところでタイヤ交換のためにピットイン。ここから良いタイヤでペースアップというところでしたが、交換作業を終えて、レースに復帰しようとしたところにトップ集団が迫ったことから、Jujuはコースを譲らざるを得ず、ペースを上げることができません。その中でも後半は2番手を走行していた車両とほぼ同タイムで走行するなどの健闘をみせ、20位でフィニッシュとなりました。

レース後、Jujuは、「ピットストップでタイヤ交換後は、良い感じだったので、クリーンエアでプッシュして見たかったな」と、やや残念な表情も。それで

も、「またいろいろ勉強になったし、レースをしているので勝ちたいという思いはあるけど、そうなる為の今だから、元々のコンセプトからブレないことが大事。」と、まっすぐ前を向いていました。

今回のレース、Jujuのピットには、大勢のファンや支援者、スポンサーの皆さんが訪れ、声援を送ってくださいました。Jujuは、「沢山の方々が応援に来てくださり、皆さんの期待も一緒に走りました。ご声援ありがとうございました。」と感謝の思い。加えて「さあ振り返っている暇は、ありません。来週は、ドイツ・Nurburgring(ニルブルクリンク)で、BOSS GP 第2ラウンドです。ビッグフォーミュラでのレース機会をスーパーフォーミュラに活かしていきたいですね」と語りました。

「TGM Grand Prix」に帯同し Juju にアドバイスを送る野田英樹 NODAレーシング監督は、「練習もまったくできない状況でまだ2戦。本番が練習でもあるわけで、失敗を恐れず楽しんで経験を積み上げれば良い。ピットストップ後のペースは、良かったね。オートボリスのスーパーフォーミュラで、あの周回数をプッシュする事がどれだけの身体的負担がかかるかわかっているから、特に後半のタイムを落とさずに逆に上げて行ったのは立派だと思う」と、Jujuの成長を実感していました。



「Jujuのピット前に集まる大勢のファンの皆様」

※写真クレジット すべて「Photo by T.Endo」

この件に関するお問い合わせ先：NODA RACING 広報担当 石川
e-mail t.ishikawa@noda-racing-academy.org Mobile 090-8940-1683
岡山・美作事務局 担当 須田
Tel.0868-75-3283/Mob.090-5128-3064 mail k.suda@noda-racing-consultans.biz